 阿南	 可工業高等	専門学校	:	開講年度		2023年度)	授	業科目	 生化学 2			
科目基础			.	WILL LIX	1 12 1400 1 150 (2		1 12	-:>: I -	_,_,			
科目番号		1414G0	12			科目区分		専門 / 必修	<u> </u>			
授業形態 講義			72			単位の種別と単	 位数	学修単位:				
開設学科 化学コース			- フ			対象学年	177	4	_			
開設期後期後期				以 対象字句			2					
担当教員	V-1/2J	大谷 卓	X \ /	, ノ 、ノ 、 エ zy i5 i0 iU T エ iu T //mi								
<u></u>	西	/\u +										
1 生物	機能についる	この化学的構物質の化学的 気応を理解で	既念を明めている。	里解できる. を理解できる								
ルーブリ												
70 2332				理想的な到達レベルの目安標準的な到達				======================================	未到達し	 到達レベルの目安		
評価項目1				物機能につい	への化学的概念を く説明できる。	生物機能についての化学的概念を				についての化	学的概念を	
評価項目2				を例をあげて詳しく説明できる。 を説明			注説明できる。 を			物を構成する物質の化学的概念説明できない。		
評価項目3				生体内での化学反応を例をあげて 生体内での化学 詳しく説明できる。 。 。				説明できる	生体内での い。	での化学反応を説明できな		
学科の発	到達目標項	目との間	•	_ ,3/0 /3 C C	_ •	11			1			
	育到達度目標		9 P/15									
教育方法												
機要 生物機能の化学的解明を行い、その成果を人類の生存や人間生活の向上を目指して行くための学問である。生物学の基礎的知識を身につけ、エンジニアとして必要な生物化学を理解することができる力をつけることを目的とする。										生物学の基 る.		
	め方・方法			うが、必要に広	芯じて小テスト、レ	ポートを実施する	0					
注意点		特になし	<i>)</i>									
授業の原	属性・履修	多上の区分	}									
」 アクラ	ティブラーニ	ング		ICT 利用		□ 遠隔授業対応	5		☑ 実務経	経験のある教 録	員による授業	
受業計画	—	l.m	ı=	1			I.E. " :					
後期	1	週						との到達目標				
		1週						生化学1で学習した異化について説明できる.				
		2週		異化2				電子伝達系とATP生産について説明できる.				
		3週		異化3/同化				グリコーゲン代謝と糖新生について説明できる.				
		4週	同化2	司化 2				光合成について説明できる。				
	3rdQ	5週	脂質:	賃 1				脂質の構造や分類について説明できる.油脂の性質について例を挙げて説明できる. リン脂質,糖脂質,ステロールについて説明できる.				
		6週	脂質	指質2脂質の代謝1				細胞膜の構造と輸送に関して説明できる。トリアシルグリセロールの消化について説明できる。				
		7週	脂質の	の代謝 2			トリアシルグリセロールの貯蔵と流動化について訪 できる. 脂肪酸の酸化について説明できる.			ついて説明		
		8週	中間記	 式験			今までの内容を復習して合格点を取る					
		9週		<u>- パラス</u> の代謝 3			脂肪酸の生合成について説明できる。					
				パク質とアミ	/ 而允/七章計 1		タンパク質の消化やアミノ酸の異化について説明				て説明でき	
		10週	-		- 1201 4835 -		3.					
		11週		パク質とアミ				路について				
	4thQ	12週	タンノ	パク質とアミ	ノ酸代謝3		非必須アミノ酸の生合成について説明できる. DNA,染色体,遺伝子,核酸の構成成分についてできる.核酸鎖の構造について説明できる. DNAの複製やRNAの構造と機能について説明でき					
	134	13週	1	とタンパク質).		
		14週		とタンパク質 ヒタンパク質								
		15週	核酸とタンパク質合成3				転写と遺伝暗号,翻訳について説明できる. 今までの内容を復習して合格点を取る					
	<u> </u> 	16週 		^{期末試験} 学習内容と到達目標			フよじ	リツ谷を復	当して合格	黒で扱る		
	コグハリコ		ノ子首	1						到法1.ベリ	位業は	
分類		<u>分野</u>		学習内容	学習内容の到達目標 脂質の機能を複数あげることができる。			到達レベル 4	授業週			
専門的能力)専 化学・ 系分野			脂質の機能を複数のけることができる。 トリアシルグリセロールの構造を説明できる。脂肪酸の構造を説明できる。		対構造を説	4				
					リン脂質が作るミセル、脂質二重層について説明でき、生体膜の 化学的性質を説明できる。			生体膜の	4			
	カー盆野別の		生物	 生物化学	ヌクレオチドの構造を説明できる。 DNAの二重らせん構造、塩基の相補的結合を説明できる。 DNAの半保存的複製を説明できる。 RNAの種類と働きを列記できる。 コドンについて説明でき、転写と翻訳の概要を説明できる。		4					
		糸分里	ľ				4					
							4					
							4					
							4					
					解糖系の概要を説					4		
					フェア・ファン にっちょう しんりょう しょうしょう しょう							

		2	クエン酸回路の概要	更を説明できる。			4				
			酸化的リン酸化過程におけるATPの合成を説明できる。								
		Į t	嫌気呼吸(アルコール発酵・乳酸発酵)の過程を説明できる。								
	各種の光合成色素の働きを説明できる。						4				
	-			光化学反応の仕組みを理解し、その概要を説明できる。							
		j.	炭酸固定の過程を説	説明できる。			4				
評価割合											
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他		合計			
総合評価割合	70	0	0	0	30	0		100			
基礎的能力	50	0	0	0	15 0		65				
専門的能力	20	0	0	0	15 0			35			
分野横断的能力	0	0	0	0	0 0			0			